

授業科目 数学の基礎

【担当教員名】 玉 木 賢 志	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・健康・スポ・看護
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	15

【概要・一般目標：G10】

「数学」というのは、物事を論理的に考える力を養う為にあります。その物事が数学的なことであろうと日常的なことであろうとすべてに共通することです。数学を学習することにより、「どこで」「なぜ」「なにを」間違えたから問題が解けなかったのか、「どのように」考えれば問題が解けるのかを意識できるようになることを目標とします。すなわち、結果よりも結果に至るまでのプロセスの方が大事であることを認識してもらいたいと考えています。プロセスがしっかりしていれば、たとえ結果を間違えても直ぐに修正が利くからです。講義は一方的なものではなく、学生と一緒に考えながら進めて行きたいと思います。高校までの数学が苦手、嫌いな人でも短期間なので、集中して取り組んで下さい。

【学習目標・行動目標：SB0】

- ・数学的な見方や考え方を身に付け、論理的に考察することができるようになる。
- ・数学的な表現や処理の仕方・計算力を身に付ける。
- ・数量や図形などについての基本的な考え方や性質を理解する。
- ・各単元の公式・定理をきちんと理解し、それらを使って問題が解けるようになる。

回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	式の展開・因数分解・式の値・方程式・不等式(数学Ⅰ)		小テスト・演習問題
2	1次関数・2次関数1. (数学Ⅰ)		小テスト・演習問題
3	1次関数・2次関数2. (数学Ⅰ)		小テスト・演習問題
4	三角比・図形の計量(数学Ⅰ)		小テスト・演習問題
5	集合と論理、場合の数・確率1. (数学A)		小テスト・演習問題
6	集合と論理、場合の数・確率2. (数学A)		小テスト・演習問題
7	微分法(数学Ⅱ)		小テスト・演習問題
8	積分法(数学Ⅱ)		まとめ

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	指定の教科書は使用しません。講義資料を配布します。			
参考書	必要に応じて、適宜紹介します。			
その他の資料	高校の教科書(数学Ⅰ・A・Ⅱ)			

【評価方法】

出席(重視する)、授業への積極的な取り組み(小テスト、レポート、ノートの提出等)、試験(自筆ノートやプリントの持込を許可する場合もある)で評価します。

【履修上の留意点】

毎回出席を取るので、やむを得ない事情(アルバイト、部活動、ゼミ等の特別授業)で欠席の際は、その旨必ず届け出て下さい。授業を欠席した場合は、他の受講生からノートを借りるなりして、きちんとフォローしておいて下さい。授業の内容は多少変更する可能性があります。